

(様式2) 【発表要旨】

<発表者> 指導区名：始良・伊佐指導区 氏名：岩 智洋

1 発表テーマ

「始良・伊佐地域未来の森林づくり推進プラン」目標達成への取組

2 テーマの趣旨・目的 <取組課題選定の背景含む>

令和元年11月に制定された「始良・伊佐地域未来の森林づくり推進プラン」では、「木材生産量」、「再造林面積」、「間伐面積」の3項目について毎年の目標を定め、目標達成に向けて林業普及指導事業実施計画の中の地域重点課題として取り組んでいる。

このうち、「木材生産量」及び「間伐面積」については、目標計画を達成できたが、「再造林面積」は、残念ながら目標計画を達成できなかった。

今回は、3項目の中で、最も重要な課題として位置づけている「再造林面積」の目標達成に向けて、私が当指導区へ赴任した令和2年度から取り組んできた内容について、担当地域である始良市の事例を中心に発表する。

3 現状及びこれまでの取組・成果

(1) 現状（令和元年度末時点）

○再造林

- ・再造林面積（管内：145 ha うち始良市：9 ha）
- ・再造林率（管内平均：38% 始良市：25%）

○林業労働力

321名（※うち主に造林作業に従事7名） ※森林組合のみ
伐採者と造林者の連携事例（14事例）

(2) 課題設定と取組

○課題設定

- ①再造林面積の増
- ②造林班を中心とした労務不足の解消

○取組

- ①森林所有者や林業関係者への再造林の意識づけ
- ②下刈作業の省力化
- ③担い手の確保・育成

(3) 具体的取組

①森林所有者や林業関係者への再造林の意識づけ

- ・始良・伊佐地域未来の森林づくり推進プラン会議及びワーキンググループの開催
- ・始良市林務行政定例会の開催
- ・再造林推進に関する普及啓発

②下刈作業の省力化

- ・防草シートを使用した下刈り省力化試験の開始（始良市）

③担い手の確保・育成

- ・ 再造林技術研修会の開催
- ・ 伐採者と造林者の連携の推進
- ・ 高校生を対象とした森林・林業・木材産業職場見学

(4) 成果（目標数値等を定めた場合は、その成果を含む）

○再造林

- ・ 再造林面積

（管内 R2年度：175 ha→R3年度：213 ha +38 ha）

（始良市 R2年度：22 ha→R3年度：37 ha +15 ha）

- ・ 新たな下刈省力化試験の開始（始良市）

○林業労働力（R2年度）

323名（※うち主に造林作業に従事9名） ※森林組合のみ

伐採者と造林者の連携事例（R2年度21事例 R3年度14事例）

しかし、再造林率が県平均（R2年度52%、※R3年度55%）を下回り、目標達成できなかった。（※速報値）

「始良・伊佐地域未来の森林づくり推進プラン」における
再造林面積・再造林率の達成状況

区分	再造林面積 (ha)			再造林率		
	R1	R2	R3 ※	R1	R2	R3 ※
計画	203	278	288	53%	70%	70%
うち始良市	45	62	64	53%	70%	70%
実績	145	175	213	38%	37%	38%
うち始良市	9	22	37	25%	44%	48%
対前年比	-	121%	122%	-	97%	103%
うち始良市	-	250%	168%	-	178%	109%

※速報値

4 今後の取組

(1) 再造林面積の増及び再造林率のアップ

ア 再造林に特化した研修会等の開催

- 地ごしらえ研修会の開催
- 林業用運搬ドローン研修の開催
- 新たな下刈省力化試験地のモニタリング

イ 伐採者と造林者の新たな連携や高校生を対象とした林業の職場体験など担い手確保・育成の取組の

ウ 伐採届に基づく適切な伐採の推進

- 伐採パトロールの継続的な実施
- 植栽を行わない林業事業者に関する情報収集

(2) コンテナ苗の安定供給体制の整備（苗木の地産地消化）

ア 始良・伊佐需給調整会議（仮称）の開催

イ 苗木生産者への技術支援